



TYC メールマガジン 第52号

★★★★★ TYCメールマガジン ★★★★★

第52号 平成29年10月12日

富士山が見える「内浦湾」から会員の皆さんにホットな情報をお伝えします。

※このメールマガジンが不要の方は、件名に「不要」とご記入頂き、下記の発信者までご返信下さい。尚、このメールは送信専用のため、返信出来ません。

メールアドレスを変更したときは、新しいアドレスを登録してください。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

■JSAFとヤマハのレースが開催されました。

10月8日(日)にJSAF沼津フリートのオータムシリーズ第1戦・第2戦が開催しました。2レースをおこないましたが、1位が3艇と熱戦でした。

MIWA, BOREAS, MERAMでした。

翌日9日(月)は、ヤマハファミリーヨットレースが開催されました。

両日ともに天候に恵まれました。



スタート直後



ゴール直前

■「英国の港事情」！

寄稿 ペルシャ 松岡謙一

英国はロンドンをはじめブリストルやコーンウォール半島の港などすべて潮の満ち引きが大きい。そのため、^{こつもん}閘門などが備えられていないと、引き潮になると港の水が干上がってしまう。

平底の船はそれでも海底に鎮座してられるからまだよい。ヨットなどはみな横倒しである。したがって、その地方のヨットハーバーには必ず閘門があり、引き潮時でも水位を保たせている。

それで想像できると思うが、潮が満ちてこない船は出航できない。だから、ヨット乗りたちは、潮の満ち引きが最重要課題なのである。当然彼らはいつも潮の時間を気にしながら出入港をしている。我々は比較的無頓着ではないだろうか。いつ帰港しても港に入れるというありがたさを当たり前だと思っていないか。

英国の港では大きく潮が引くので有明海のような干潟が顕れる。昨年だったか、英国東海岸の Maldon 港に立ち寄ったが、干潟でどろんこの中を走るレースをやっていた。日本で言えば田んぼの中でレースをやるようなものである。その時の港は当然ほとんどの船が泥の上に鎮座している状態であった。各選手はまさに泥仕合で、ぬかるみの中で足を取られながらかけているものもいれば四つん這いになりながら進んでいるものもいた。



Maldon の泥んこレース



Maldon の船が海底に鎮座している



Padstow の港



Padstow の同日同時刻のヨットハーバー

■ライフジャケットを着用しましょう!!!

最近、落水事故が多くなっております。クラブハウスを出る時から、ライフジャケットを着用する習慣を身に付けてください。あなたの命を守ることが出来ます。多比ヨットクラブは、救命浮き輪を2か所設置しました。(クラブハウス前とポンツーン流し台前) 是非、知って置いて下さい。落水者を発見した時などの緊急時は、どなたでも使用できます。



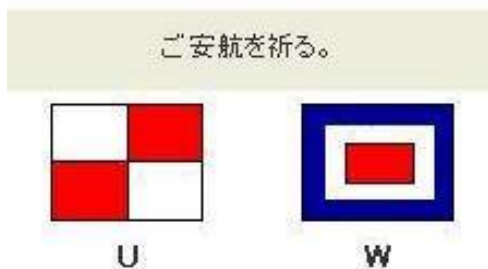
■今後の予定

10月22日(日) UR

10月28日(土) カルチャークルージング

■UW!!!

今年も、全艇の安全な航海を祈っております。



■あともがき

今月、大瀬崎外海で錨泊中のヨットに、遊漁船が衝突してヨットのマストが破損する大事故が発生しました。詳細は、不明ですが十分注意して出航して下さい。

-----情報-----

みなさんの家族・友人・知人でのクルージングなどの情報を待っています。

発信者：TYC IT委員会 臼井洋一郎
多比ヨットクラブ
沼津市多比1-130
TEL：055-939-1881
HP：<http://tabi-yc.com>
e-mail：ja2ges@tabi-yc.com